令和６事業年度の決算について

２０２５年６月

大阪府道路公社

大阪府道路公社は、淀川を渡河する鳥飼仁和寺大橋有料道路（以下「鳥飼」という。）と、国土軸を担う新名神高速道路から新大阪・梅田等の大阪都心を直結する箕面有料道路（以下「箕面」という。）の２路線の管理運営を行っており、この度、令和６事業年度の決算概要及び中期経営計画（令和４～７事業年度）の目標達成状況について取りまとめました。

Ⅰ　令和６事業年度決算概要

○損益計算書（表－１）

- 収益では、道路料金収入は２２．６億円となり、前年度に比べ１．３億円増加（対前年度比６．２％増）しました。これは、道路料金収入となる交通量について、鳥飼の１年間の総交通量が３７７万台、前年度に比べ５万台増加（前年度比１．２％増）したこと、また、箕面の総交通量が４３４万台、前年度に比べ２５万台増加（前年度比６．１％増）したことによるものです。
- 費用では、道路維持費は４．１億円となり、前年度に比べ０．６億円増加（対前年度比１８．７％増）しました。これは、鳥飼において５年に１度の法定点検である橋梁点検（０．３億円）を実施したことによるものです。
- 道路管理費は９．４億円となり、前年度に比べ０．７億円増加（対前年度比８．１％増）しました。これは箕面において情報板更新工事（１．８億円）などを実施したことによるものです。
- 特別法上の引当金等繰入額（損失補填引当金繰入額※及び償還準備金繰入額※）については８．１億円となり、前年度に比べて０．７億円増加（対前年度比１０．０％増）しました。

※損失補填引当金繰入額とは、事業年度ごとに道路料金収入額（税抜き）に一定の率（現行１２％）を乗じて得た額を積み立てるもの。また、償還準備金繰入額とは、各事業年度の道路事業の収益が費用を上回る額を積み立てるもの。

表－１ 損益計算書　　（単位：億円）

	令和５事業年度	令和６事業年度	増減額	増減率
有料道路事業収入	21.5	23.3	1.8	8.4%
道路料金収入	21.3	22.6	1.3	6.0%
業務外収入	0.2	0.7	0.5	346.7%
受託事業収入	0.1	4.6	4.5	5011.1%
収益合計	21.6	27.9	6.3	29.3%
有料道路事業費	19.5	21.6	2.1	10.7%
道路維持費	3.4	4.1	0.6	18.7%
道路管理費	8.7	9.4	0.7	8.1%
特別法上の引当金等繰入額	7.4	8.1	0.7	10.0%
損失補填引当金繰入額	2.3	2.5	0.1	6.0%
償還準備金繰入額	5.1	5.7	0.6	11.8%
受託事業費	0.1	4.4	4.3	4800.0%
一般管理費	2.0	1.9	△ 0.1	△4.5%
役職員諸給与	1.6	1.6	0.0	0.0%
管理諸費	0.4	0.3	△ 0.1	△24.3%
費用合計	21.6	27.9	6.3	29.3%

（※）四捨五入の関係で、合計等が合わない場合がある。（以降の表も、同様。）

○貸借対照表（表―２）

- 流動負債（４．７億円）と固定負債（６．１億円）の合計（１０．８億円）に比べ、流動資産（２３１．７億円）の方が多くなっています。
- 特別法上の引当金等は、３２３．７億円となり、前年度に比べ８．１億円増加（対前年度比２．６％増）しました。これは、鳥飼、箕面の２路線について、損失補填引当金繰入額２．５億円、償還準備金繰入額５．７億円をそれぞれ積み立てたことによるものです。

表－２　貸借対照表　　（単位：億円）

資　産　の　部				
科　目	令和5事業年度	令和6事業年度	増減額	増減率
流動資産	228.1	231.7	3.5	1.5 %
固定資産	645.1	645.1	0.0	0.0 %
道路資産	645.0	645.0	0.0	0.0 %
有形固定資産等	0.1	0.1	0.0	△ 5.3 %
資産合計	873.2	876.7	3.5	0.4 %
負債及び資本の部				
科　目	令和5事業年度	令和6事業年度	増減額	増減率
流動負債	1.9	4.7	2.8	151.3 %
固定負債	13.6	6.1	△ 7.4	△ 54.9 %
政府借入金	10.4	4.7	△ 5.7	△ 54.7 %
その他借入金	3.2	1.4	△ 1.8	△ 55.5 %
特別法上の引当金等	315.5	323.7	8.1	2.6 %
鳥飼・箕面にかかる損失補填引当金・償還準備金（※1）	156.4	164.5	8.2	5.2 %
移管3路線にかかる損失補填引当金（※2）	159.1	159.1	0.0	0.0 %
負債合計	330.9	334.5	3.5	1.1 %
基本金	500.2	500.2	0.0	0.0 %
大阪府出資金	500.2	500.2	0.0	0.0 %
資本剰余金	42.1	42.1	0.0	0.0 %
工事負担金	42.1	42.1	0.0	0.0 %
資本合計	542.3	542.3	0.0	0.0 %
負債及び資本合計	873.2	876.7	3.5	0.4 %

（※1）損失補填引当金は各事業年度の損失補填引当金繰入額の累計額である。
　　償還準備金は各事業年度の償還準備金繰入額の累計額（投入資金の回収額）である。
（※2）移管3路線（堺泉北、南阪奈、第二阪奈）の損失補填引当金の累計額である。

Ⅱ　中期経営目標に対する達成状況

当公社は、安全・安心な道路サービスを提供しつつコスト削減を図り、建設費の計画的な償還に努めることとし、中期経営計画（令和４～７事業年度）期間内の、鳥飼及び箕面にかかる各年度の償還準備金等繰入額及び償還準備金等積立額を中期経営目標として設定しています。

令和６事業年度の経営目標に対する取組み結果は、償還準備金等繰入額及び償還準備金等積立額とも、経営目標に比べ、１７２百万円の増となりました。その要因は、「通行台数」、「収益」が目標を上回り、かつ「費用」が目標を下回ったことによるものです。

表－３　中期経営目標と決算の比較　（単位：百万円）

（損益計算書ベース）	中期経営目標（A）	決 算（B）	（B）－（A）
償還準備金等繰入額（※1）	642	814	172
償還準備金等積立額（※2）	16,280	16,452	172

（※1）償還準備金等繰入額は、損失補填引当金繰入額と償還準備金繰入額の合計額。
（※2）償還準備金等積立額は、これまでの各事業年度の償還準備金等繰入額を合算した額。

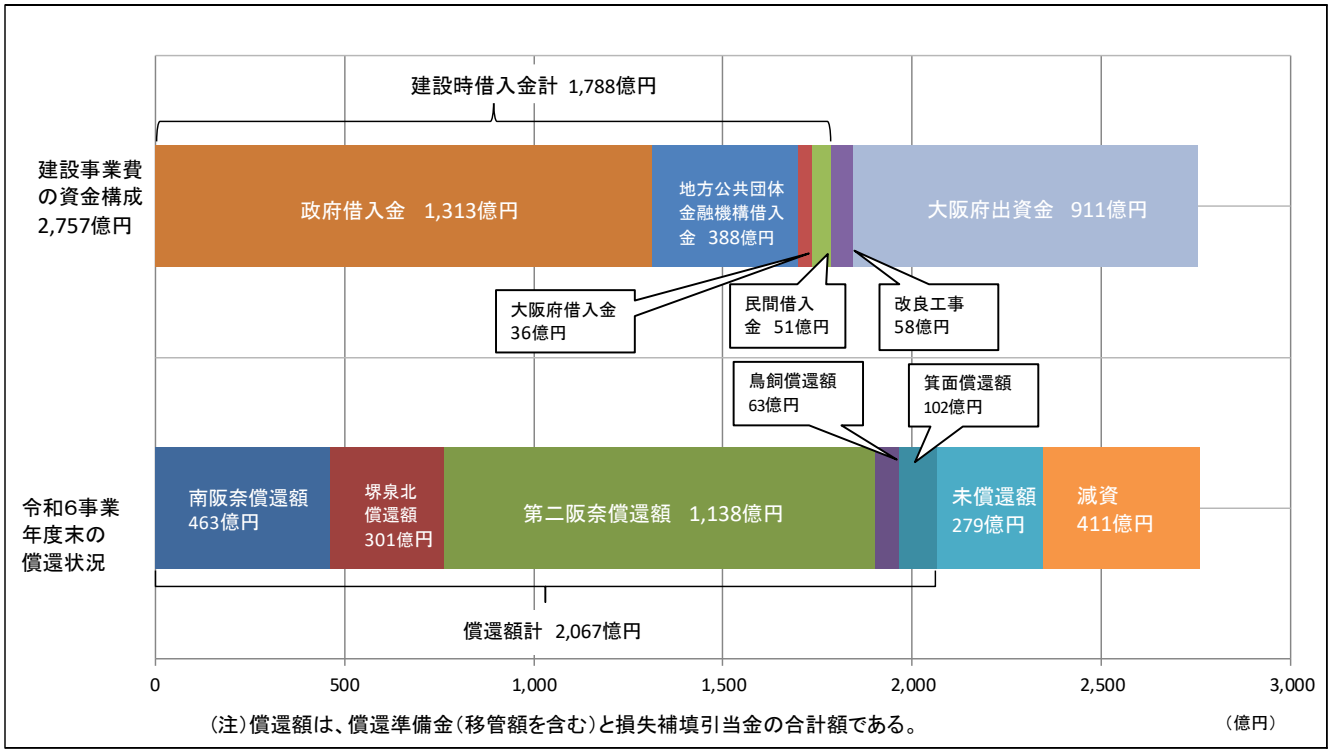
（参考）表－３の項目別内訳　（単位：百万円）

	中期経営目標（A）	決 算（B）	（B）－（A）
通行台数（台/日）	20,600	22,228	1,628
収益（料金収入等）　①	1,958	2,788	830
費用（道路管理費等）　②	1,316	1,974	658
償還準備金等繰入額　①－②	642	814	172

（※）「中期経営目標（A）」の各項目の数値は、２０２２年３月に策定した「大阪府道路公社　中期経営計画【チャレンジ２０２４】（２０２２年度～２０２４年度）」を引用。

Ⅲ　移管３路線を含めた公社５路線の建設費の償還状況

建設費の資金構成と償還状況



（注）償還額は、償還準備金（移管額を含む）と損失補填引当金の合計額である。